

## 令和7年度飯山市教育施策の主な事業

飯山市教育長 山田 晃

飯山市教育委員会といたしましては、今年度も「子どもから大人まですべての市民のための教育行政をどのように進めていくか」を大事な課題と捉え、次のような取組を進めてまいります。

### 子どもを真ん中においた学校教育の推進

4月8日に城北小学校が開校しました。一学期は仮校舎(旧戸狩小学校)での生活となりますが、新校舎建設工事は一学期中の完成に向け順調に進んでいます。二学期は新校舎に移転してスタートし、開校記念式典も予定しています。城北小学校では、英語教育、ICT教育、ふるさと学習等を充実させるとともに、小中連携教育カリキュラムを推進し、小中学校9年間の継続性による学びの向上を図ります。

### 中学校休日部活動の「地域クラブ移行」の推進

中学校の休日部活動の地域クラブ移行につきましては、岳北4市村による「みゆき野ジュニアクラブ地域連携協議会」を立ち上げ、広域連携を視野に入れた取組を進めています。すでに地域クラブで活動している卓球、野球に加え、剣道、バスケットボール、陸上競技等でも地域クラブの立ち上げに向けて検討を進めており、可能なところから順次活動を始めていきます。

### 保育園・小中学校保護者の負担軽減を進めます

保育園・幼稚園・小中学校に通うお子さんをもつ保護者の皆様の経済的な負担軽減の

ため、保育園・幼稚園の給食費の完全無償化や保育料の軽減、小中学校の給食費を5割軽減から7割軽減といたします。

また、今年度から保育園と幼稚園で米飯給食を実施します。朝の忙しい時間帯の保護者の皆様の負担軽減を図るとともに、飯山の美味しいお米で炊いた温かいご飯を提供することで食育にもつなげていきたいと考えています。このように子育て支援を大切にしたい取組を引き続き進めてまいります。

### 2028国スポ飯山大会に向けて

飯山市は2028国民スポーツ大会で冬季のスキー競技、夏季のカヌースプリント競技の会場となります。国スポ飯山市準備委員会では、総会・常任委員会・専門委員会・専門部会を組織し、飯山市開催推進総合計画にそって各種計画や要項等を策定し、競技役員や指導者・選手の育成を進めています。これらの取組を通して、スポーツの振興と地域文化の発展につなげてまいります。

### 計画に基づき男女共同参画を進めます

## 4月8日に開校式を開催 「飯山市立城北小学校」が開校しました

4月8日、飯山市立城北小学校の開校式を執り行い、新たな学校の歴史がスタートしました。

開校式では、児童代表として高橋直太郎さんが「多くなった仲間と知恵を出し合い、励まし合い、四つの学校のそれぞれの伝統を受け継ぎながら、「みんな仲良く、えがおあふれる城北小学校」を協力して創り上げていきたいと思



開校式では参加した2～6年生児童が新しい校歌を披露。元気な歌声が会場に響き渡りました。

されました。

式の最後には、山崎浩さん作詞、TAIRIKさん作曲の城北小学校校歌を全校児童で斉唱し、開校を祝いました。城北小学校は泉台小学校、

常盤小学校、戸狩小学校、東小学校の4校を統合した小学校で、全学年が2クラスずつの計268名の児童が学びます。今年度の1学期は仮校舎である旧戸狩小学校を活用、2学期が始まる9月からは、城北中学校の南側、旧第三中学校敷地に建設中の新校舎に移転し、9月12日には開校記念式典を予定しています。

### お問い合わせ

子ども育成課学校教育係  
Tel 67-0741 (課代表)

## 令和7年度(2025年度) 市内小中学校校長および教頭

### ●小学校

- 秋津小学校校長 宇佐美 昌博  
同 教頭 岡田 絵美
- 飯山小学校校長 村田 忠久  
同 教頭 平田 久貴
- 木島小学校校長 深沼 浩  
同 教頭 宮崎 尚子
- 城北小学校校長 小田切 浩一  
同 教頭 浅野井さお里

### ●中学校

- 城南中学校校長 高橋 廣貴  
同 教頭 西澤 剛
- 城北中学校校長 齊藤 正一  
同 教頭 梨子田 昌央

## 人権学習 シリーズ

### 飯山子ども食堂

代表 荻原 博彦

「誰もが自分らしく暮らせる飯山市」を目指した第5次飯山市男女共同参画計画が策定され、今年度から5年間にわたり推進していきます。「家庭の中で男女差別を感じる人の割合を20%以下にする」等7項目において具体的な目標を設定して取組を進めていきます。

### 住民が主役の公民館活動

コロナ禍を経て「今まで実施していた活動をもう一度問い直し、前例踏襲にこだわらず、自分たちで楽しいことを工夫して行おう」という基本理念のもと「人が育ち、地域が輝く、住民が主役の公民館活動」を進めていきます。

### 「学びのエリア」再編の検討を始めます

公民館・女性センター・未来図書館・ふるさと館などで構成する「学びのエリア」について、建物の長寿命化を踏まえつつ、将来的なあり方を検討するため、今年度「(仮称)再整備検討委員会」を組織し、学びのエリア再整備に向けた議論を進めていただきます。

### 絵本で育てるまちづくり事業

本事業では、昨年度養成

講座を修了した絵本コミュニケーションの里及び小菅山」が平成27年に国の重要な文化的景観として選定されて今年で10周年となります。これにあわせて6月に記念イベントを開催いたします。また、国の史跡として指定を受けることを目指し、測量による「小菅修験遺跡参道南遺構群」の図面化を進めていきます。

今年度も、春夏秋冬それぞれの季節に美しい情景が見られる「日本の原風景が感じられるまち」と称される飯山市に住むすべての市民のための教育行政に精一杯取り組んでまいります。市民の皆様のご理解ご協力をいただきますよう、よろしく願いたします。

テレビで「子どもの貧困が国を滅ぼす」という番組を見て、即座に活動しなければと思い、2ヶ月後に飯山子ども食堂を発足させました。飯山市公民館、飯山市社協等、関係の皆さまにご理解とご協力をいただき、立ち上げから9年がたちました。現在も飯山市公民館で活動させていたいただいております。

さて、県内には90余りの子ども食堂があり、地域独自の活動を行っています。飯山市子ども食堂の運営をしながら「自分たちの思いや活動が、ねらい通りの成果を上げているのか」「本当に支援を必要としている方々に活動の趣旨が届いているのか」と、常に案じていました。そのような中で昨年、スクールソーシャルワーカーの方が、お子さんや保護者の方に子ども食堂の事を広めて下さり、た